# 埼弓連だより

令和６年５月31日

第73号

★発行事務局　〒359-0026　所沢市牛沼250−19（本橋民夫方）　TEL・04-2995-3839　埼玉県弓道連盟総務委員会


## 今年度の課題について

会長　**本橋　民夫**

コロナ感染症の第５類移行に伴い、世の中はコロナ前の状況を取り戻しつつあります。

新年度に入り埼玉県弓道連盟を取り巻く環境も激変し、新たな課題も出てきました。

今回は、財政面とねんりんピック埼玉大会について報告をさせて頂きます。

**１　財政面について**

近年、以下の事案に対する支出のため、財政面が厳しくなってきております。

**（１）新型コロナウィルスについて**

令和２年度から発生した新型コロナウィルス問題に伴い、各種事業実施の際には消毒剤等を購入し所要の個所に配置するとともに、受付時刻を分散するために運営委員を増員する等の対策を行うことにより経費が増加しました。

**（２）全日本弓道連盟の分担金について**

全日本弓道連盟としては、会費は徴収していないものの会員数に応じて分担金の徴収を行っております。埼弓連としては全弓連の分担金を年度の予算の中から支出しておりますが、その分担金が従来の２倍の2,000円／人に引き上げられました。

**（３）消費税の納付について**

連合審査会・地方審査会での受審料・登録料等に関して消費税の納付はしておりませんでしたが、これらは事業収入になるので消費税の納付の義務があるとして納付することになりました。消費税に関しては、過去にさかのぼっての納付も要求されました。

**（４）一般社団法人化について**

昨今の情勢から、埼玉県弓道連盟は単なる趣味の集団として扱うことは適切ではなく、法人化として会を運営することが妥当であるということが指摘され、令和５年度から一般社団法人埼玉県弓道連盟として活動することになりました。

それに伴い、顧問税理士との年間契約、役員の交代に伴う登記費用の支払い等が必要になってきました。

これらの事案が新たに発生したことにより、従来の予算の範囲での連盟の運営は厳しくなってまいりました。そこで、より適正な財政管理の方法を案出するために、「財政問題等検討小委員会」を立ち上げて検討することになりました。

その中では助成金の妥当性、講習会の在り方、審査会・競技会の運営要員・運営方法の妥当性等各方面から検討を行って財政全般の見直しを行い、無駄のない会費の有効活用の方法を見出したいと考えております。小委員会での結論については、理事会に提案することを予定しております。

**２　ねんりんピック埼玉大会について**

「第３６回全国健康福祉祭（愛称ねんりんピック）埼玉大会」が令和８年度に実施されることが決定しました。期間は、11月７日（土）から10日（火）の４日間で、弓道競技は、上尾市の県立武道館を会場にして開催することを要望しております。本大会には、各県代表チーム及び政令指定都市代表チームが参加可能であるため、多くの参加者が見込まれます。埼玉県は開催県特別枠で、数チームの増加が認められるため、多くの会員の皆様が選手として参加することが可能になります。参加チームが多く、４日間という日程なので、運営面では埼玉国体並みの役員が必要と考えられます。大会運営役員には、年代を問わず多くの会員の皆様にご協力をお願いすることになると思います。

今年度から受け入れ準備等を開始し、先ずは全体構想の策定、主要な役員の選定を行い、「ねんりんピック鳥取大会」の視察を計画しております。

連盟として活動していく中で、今後も課題は次々と発生すると思います。これらに対して真摯に受け止めて取り組んでいきたいと思います。

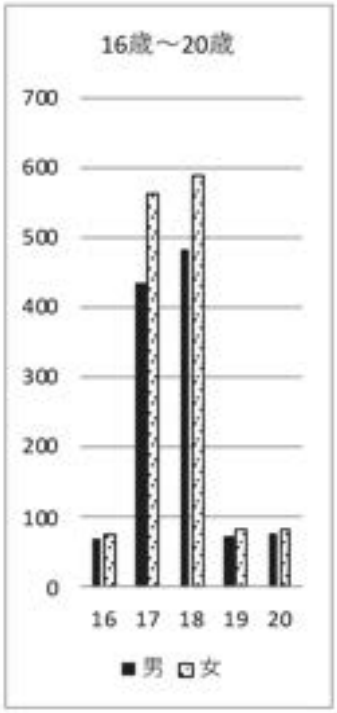
# 専門委員会だより

## 総務委員会

### 埼弓連男女の比率

委員長　**竹内せき子**

昨年、「高校の人気部活動」女子の部の３位に弓道が入ったという話題を聞き、男女の比率を調べてみました。



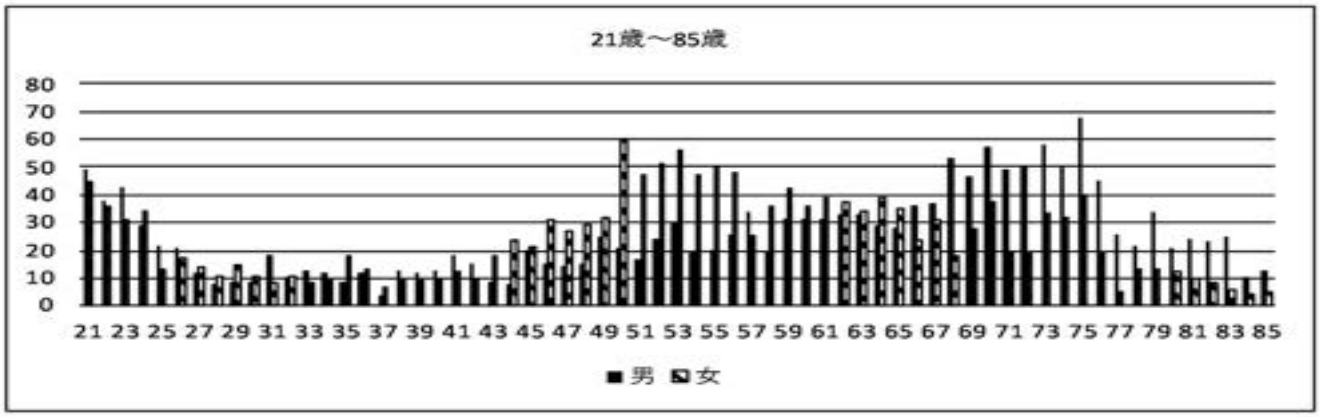

【高校生部活人気ランキング】
2024.2.22 調べ

**女子**
１位＝ダンス
２位＝軽音楽
３位＝弓道

**男子**
１位＝サッカー
２位＝陸上
３位＝吹奏楽、バスケット、バトミントン

左グラフ参照
17 歳（高 2）男子より女子の方が 127 人多い
18 歳（高 3）男子より女子の方が 105 人多い。

下記のグラフを見て頂くとお分かりのように女性は 50 歳くらいから弓道を始める又は再開し、男性は 65 歳の定年退職をきっかけに弓道を始めるといったパターンが見て取れます。




### 長寿賞受賞 おめでとうございます

**令和６年度　長寿賞受賞者 29 名**

**（米寿 7 名　傘寿 22 名）**

今回は本人の承諾確認が遅れたため、氏名を載せることが出来ませんでした。

楽しみにされていた皆様、この紙面をお借りしお詫びいたします。申し訳ございません。

長寿賞は、連続 15 年以上会費を納め、その年度に
傘寿（80 歳）米寿（88 歳）白寿（99 歳）になられる会員に限り、「一社」 埼玉県弓道連盟から額入りの賞状と記念品が贈られます。

受け取った皆様から、喜びの声が寄せられたりするのは、やりきった充実感なのか、認められたと言う満足感なのか、嬉しい気持ちには変わらないと思います。

一方、記念品はというと、時間をかけ入念に品定めをしたところで、人それぞれ好みの問題があり、全員が喜んでくださるとは言い難くて・・・難しいところです。

時代は変わり、世のなか物で溢れかえっている現代に於いて、物に代わる何かを模索する時がきているとも言えるのではないでしょうか？

## 指導委員会

### 現　況　の　弓　道

委員長　**飯島千代子**

常日頃より埼玉県弓道連盟の講習会にご協力いただきありがとうございます。

コロナ感染が５類になり、安心安全とは言えませんが、今年度から講習会参加者募集を約40名といたしました。伝達講習会を除き２回のみとなりますが、複数の日程募集の時はどちらの日でも可能と記入をお願いします。

全日本弓道連盟の中期計画が発表されました。

**【理念】**

「日本の伝統文化である弓道を通じて、人々のこころとからだを育てると共に、多様で豊かな弓道文化の創造・継承を図ることで社会文化の発展に寄与する」

**【スローガン】**

「目指そう！的の彼方の明るい未来」

ということです。

埼玉県弓道連盟もそれに準じ、範となる人材の育成・指導者の育成また、半数以上を占める女性の指導者の育成に時間をかけてゆかねばならないと思います。その為にどうすればよいか、指導委員会のこれからの課題であります。

今年度も昨年同様、的中に繋がる基本体の指導を目標としました。各種大会ではほとんどが的中制です。しかし的中さえすれば弓道の技術が向上したとは考えてはいないでしょうか？

段位は下でもその人の持っている良いものがあるし、道具の適性もあるし、稽古の環境もあるし、健康上の条件もあります。どんな場合であっても、考えなくても体が体配を覚えるよう日頃から修練を重ね、中るための会の条件を満たしたいものです。

時代の変化に依って環境も教育も変わりつつあると思います。現在はハラスメントの問題が各方面でもあります。常日頃から相手に不快な思いをさせないよう、相手の立場に立って考える習慣をつけることが大切です。危険防止にも留意してください。また、公営道場を地元団体が私物化しているような誤解を一般の者に与えないように十分に配慮し、伝統文化の弓道を発展させましょう。

## 競技委員会

### コロナ対応解除

委員長　**市川　政子**

会員皆様のご協力により令和５年度事業も無事に終了致しました。

令和３年５月より各種大会はコロナ対応のため参加人数制限また分散受付の形で開催して参りました。これまで自由に大会に参加して頂くことが出来ず、会員の皆様は大変残念に思われたことと思います。しかしながら今年度からはコロナ以前に戻して開催致します。

多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。コロナ対応により、大会の各部署の業務は競技委員のみで運営して参りましたが、今年度からは参加選手の皆様にも各支部担当業務のお手伝いにご協力頂きますよう宜しくお願い致します。

県立武道館改修工事に伴い、昨年度、他の道場にて開催された大会もありました。今年度も後半の大会は熊谷・日高に会場が変更される大会もあります。大会要領および大会ごとの案内文をよくご確認の上ご参加ください。

団体競技においては、行射制限時間を設定しております。団体競技を見て思うのですが、制限時間30秒前の予鈴が鳴っても落の選手は前の選手の弦音を待ち打起しをしない選手を多く見かけます。行射の順番を崩さない限り、間合は詰めても良いのですから、前の選手の弦音を待たずに打起しをしてかまいません。

参加人数が多くなれば、道具の取り間違いが必ず発生致します。ご自分の弓や他の道具等には出来るだけ記名または目印を付けて頂きますよう対策をお願い致します。

まだまだ感染症予防に気が抜けない状況かと思います。控えの場所等ではマスク着用にご協力をお願い致します。

## 国スポ選手強化委員会

### 鹿児島特別国体

委員長　**古泉　利昭**

埼玉県での関東ブロック大会で、皆様からの熱い応援で送り出していただいた鹿児島特別国体ですが、前号の埼弓連だよりでもお知らせしたとおり、次のような成績でした。

○成年女子チーム
遠的の部　第2位
選手 小野千絵美、白石美奈子、篠原妃誉
監督 吉澤和代

○成年男子チーム
遠的の部　第7位　　近的の部　第3位
選手 高野　聖、松本英悟、藤井健人
監督 古泉利昭
※天皇杯（男女総合）　第6位
皇后杯（女子総合）　第10位

以上

**＜鹿児島国体トッピクス＞**

① 近的男子決勝トーナメントで大阪府と3・4位決定戦を戦い、双方とも6射5中で同中競射となりましたが、その競射は同中を繰り返し、ようやく5回目で埼玉が勝利し3位が決定しました。監督は3本ずつ矢を渡す時、中るようにと願いを込めましたが、見ていて気が気ではありませんでした。

② 遠的女子決勝トーメントの決勝戦で、準決勝11中83点の高得点を上げ1点差で岐阜県を破った埼玉チームが、力尽きたのか47点対60点で残念ながら2位になりました。でも的中数では1本勝っていました。

③ 毎朝監督とスッタフで必勝祈願をした、小さいですが霊験あらたかな伊勢神社の写真です。

もうこの号の埼弓連だよりが出るころには、佐賀国スポの選手も決定していると思いますが、どうか応援くださるようよろしくお願いいたします。

## 審査委員会

### 実施状況と今後について

委員長　**齋藤　安次**

平素から審査会にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

令和5年度は新型コロナウィルス感染症の法的位置付けが「1類相当」から「5類感染症」になりました。政府は一律に日常における基本的感染対策を求めることはないとの指針を示しました。一方で医療機関を受診する場合はマスク着用を求められています。また、学校では集団感染により学級閉鎖も発生していました。

このような状況においても2023年度は3,098人の地方審査会を開催し、コロナ禍前に戻ったと思われます。2020・2021年度は社会全体が大きなイベント開催を自粛するムードになりましたが、「一社」埼玉県弓道連盟（以下、埼弓連と称す）はビデオ審査会と地域分散開催など様々な工夫をし、審査委員・運営役員の協力を得ながら受審者が参加し易い環境づくりをしてまいりました。この場をお借りして関係各位に感謝申し上げます。ありがとうございました。

| 年度 | 受審者数 |
|---|---|
| 2017 | 3,100 |
| 2018 | 3,080 |
| 2019 | 3,060 |
| *2020 | 2,650 |
| *2021 | 3,060 |
| 2022 | 2,900 |
| 2023 | 3,098 |

**● 審査関係の実施状況について**

審査回数は全種別において前年度と同程度まで回復し、受審者は6%ほど増加しました。

中央審査において受審者数は5%増ですが、合格者数が33%増え稽古の成果が表れているものと思われます。また、遠方（北海道から九州まで）の審査会に参加される方が増えてきたことは弓道の活性化につながるものと思います。

学生審査は受審者数が37%増え、合格者数が25%増えているものの、2018年度と比較すると受審者数はマイナス6%です。大学生は一般と同じ審査会を受審できることになっていますので、一般の地方審査を積極的に受審していただければ幸いです。

埼玉県主管の連合審査会では受審者数・合格者数が減ったものの、県外主管の審査会で高評

令和5年度審査種別毎の概要

埼玉県弓道連盟

| 審査の種別 | 審査回数 本年度 | 審査回数 前年度増減 | 受審者数 本年度 | 受審者数 前年度増減 | 合格者数 本年度 | 合格者数 前年度増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地方審査 | 10 | 0 | 3098 | 204 | 1966 | 193 | |
| 県連主管・高校 | 4 | 0 | 1601 | △ 31 | 1455 | 6 | 合格者には級位査定者も含む |
| ・一般 | 6 | 0 | 1497 | 235 | 511 | 187 | 県外からの受審者8名含む |
| (県外主管) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 連合審査（五段） | 14 | 0 | 709 | △ 11 | 44 | 3 | |
| 県連主管 | 1 | 0 | 155 | △ 36 | 6 | △ 6 | |
| (県外からの受審者) | | | 176 | 33 | 8 | △ 4 | 集計には含まれず |
| 県外主管 | 13 | 0 | 554 | 25 | 38 | 9 | |
| 学生・教員特別審査 | 3 | 1 | 167 | 62 | 123 | 31 | |
| 特別学生 | 2 | 0 | 165 | 60 | 123 | 31 | 学生審査は初段～五段 |
| 特別教員 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | 教員審査は初段～六段・錬士 |
| 学校指導者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 学校指導者審査は初段～参段 |
| 中央審査 | 26 | 1 | 1081 | 50 | 51 | 17 | |
| 定期 | 5 | 0 | 417 | 17 | 16 | 12 | 定期中央は六段～八段、教士 |
| 臨時 | 9 | 0 | 389 | 2 | 18 | 2 | 臨時中央は六・七段、錬士 |
| 錬士臨時 | 9 | 1 | 244 | 6 | 6 | △ 3 | 錬士臨時中央は錬士のみ |
| 特別臨時 | 3 | 0 | 31 | 25 | 11 | 6 | |
| 総合計 | 53 | 2 | 5055 | 305 | 2184 | 244 | |

※表中増減値の△印はマイナスを示す。

価を得られたため、総合的に良い結果につながりました。

一方、審査業務は多額（今年度委員長扱い分：約770万円）の会計処理等が発生するので適正な処理が求められています。埼弓連の法人化により帳票類・現金の流れの見直しも始まっています。

**● 高校審査の申込方法の変更について**

2010 年に埼玉県教育委員会教育長から発出された文書によると、教職員が生徒から現金を徴収することは原則禁止されています。また、部活顧問及び支部担当業務の負担軽減を考慮するため、埼弓連として以下のように取り扱うことになりました。

・審査申込者は申込書の提出に先立って審査料等の送金をして、送金明細書を申込書に貼付し、部活顧問→支部受付担当者→県連担当者へ提出します。各担当者は入金原簿を作成し委員会会計へ提出します。委員会会計は入金原簿と預金通帳を照合し、県連会計に送金します。

・学科の課題レポートは審査会当日に受付へ提出してください。学科の課題は審査会毎、段位毎に受審者へ周知済みです。レポート用紙は専用の用紙を使用し、受審番号の記入忘れのない様にお願いします。

・審査申込料金は審査料・会費・入会金があり申込者の会員資格により異なりますので、必ず顧問の先生に相談して下さい。

・埼弓連に登録されていない会員は入会金＋会費＋審査料を振り込む、会員であってもその年度の会費が未納の場合は会費＋審査料を振り込みます。金額については当該年度の審査要領を参照してください。

**● 一般審査の申込方法は変更なし**

・審査申込できるのは会員のみです。受審希望者は早めに入会手続きを済ませてください。

・学科の課題レポートは審査申込書に添えて提出してください。

**● 今後の審査会運営について**

県立武道館の改修工事が 2025 年 3 月まで延長されたため、大宮武道館・大宮公園弓道場を審査会場として使用します。観覧席は原則開放しますが、会場により違いがありますので会場の指示に従ってください。

400 人規模の審査会開催に当たっては全員が入る控室を確保することや学科試験会場の確保が難しいことから、コロナ禍で学んだ運営方法の時刻指定受付と後日発表方式で控え人数を最小限にしたい。また、学科試験もレポート提出方式を今後も続けていきたいと考えています。

## 女子部

### 『女子部弓道大会』を終えて

副部長　**中島　幸子**

女子部に在籍して５年目、唯一の行事である『女子部弓道大会』がコロナ渦の影響で２年連続の中止を経験。令和５年度は女子大会開催が決定となり、3 年前の記憶を探ることから大会の準備が始まりました。過去の女子大会は、秋も深まる 11 月の開催でしたが、令和 5 年度は寒さがまだ残る 3 月 2 日の開催となりました。

開会式では、飯島千代子先生から、ご挨拶で温かいお言葉をいただき、矢渡では、小宮先生が考案された立射による襷さばきをご披露していただきました。心待ちにしていた『女子部弓道大会』は女子部らしい最高のスタートをきり、気持ちを引き締めた一日となりました。

射場審判を快く引き受けて下さった飯島千代子先生、戸塚藤代先生、北原きい子先生におかれましては、寒さ厳しい中、終日女子大会を見守り下さり、役員一同、先生方の胸を借りる気持ちで任務を遂行できました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

２年ぶりの大会で不安の中、大会には予想を超える 227 名の方が参加してくださいました。今回の大会も全員が揃うことは叶わず、各部門での競技になりましたが、選手の皆様のご協力により予定通り進行できました。前回の大会同様、女子部委員は役員に徹し大会を運営し、元女子部の先生方には終日大会役員としてご協力いただきました。また、当日選手として参加し、駐車場待機、的前応援の皆様のお陰で大会が順調に進行できました。そして、改修工事のため県立武道館では半年間放置した安土は固くなりとても大会を開催できる状態ではありませんでしたが、大会直前、安土整備に携わってくださった東部支部、県央支部の方々のお陰で無事に開催する事ができました。ここに応援ご協力いただきました全ての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今後も女子部一丸となり、感謝の気持ちを忘れず活動してまいります。

最後になりましたが、令和 6 年度も『女子部弓道大会』を開催する予定です。多くの皆様のご参加を女子部役員一同お待ちしております。

## 高体連

### 山田紀之先生を偲ぶ

委員長　**坂本　修**

日頃より弓道連盟の皆様には、高体連弓道専門部の活動に対しまして、多大なるご理解・ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

高体連弓道専門部前委員長の山田紀之先生におかれましては、3 月 4 日にご逝去されました。山田先生は、昭和 54 年に川越高校入学と同時に弓道部に入部し、弓道を始められました。その後、埼玉大学においても弓道部に入部、大学卒業後は所沢久米弓道会に所属されました。

弓道部顧問としては、所沢東高校在職中、弓道部を立ち上げた時に顧問となって以来、大宮光陵高校、川越総合高校と35年間務められました。

主な役職として、埼玉県高体連弓道専門部委員長、埼玉大学弓道部監督、関東教職員弓道連盟会長、全国教職員弓道連盟副会長などを務められました。

私が山田先生で一番印象に残っているのが、おそらく何方もそう言うであろう「宴会」です。もう 20 年近く前になりますが、西部の宴会に参加する機会があり、お邪魔しました。一次会の場所は食べ放題の焼肉居酒屋です。お腹一杯飲み食いした後、二次会はもんじゃ焼き屋。山田先生自らもんじゃ焼きを作り、参加者に振舞っていました。ここで解散かと思いきや、三次会は喫茶店でパフェです。しかも 30 ㎝もあるパフェです。私は終電があったので、三次会で帰りましたが、後で聞いた話によると、四次会でラーメンを食べたそうです。山田先生は、宴会や人に振る舞うことがとても好きな方でした。

本年 2 月 18 日に開催した高体連運動部活動指導者講習会の講師として山田先生をお招きし、ご講演いただきました。杖はついていたものの、声に張りもありお元気そうな様子でしたが、後ほど聞いた話によると、お身体は相当きつかったようでした。題名は「教員生活 38 年間を振り返って～射即人生～」で講演時間は１時間でしたが、本来話したい内容の半分も話さ

れていませんでした。いろいろなことをお話しされましたが、その中でも「愛のある弓道専門部」という言葉が、一番心に残りました。

夜の懇親会も参加され、顧問の先生方と談笑されていました。最後の方で「伝えたいことがまだいっぱいあるから、今度家に来てよ」といわれたのが、私にとって山田先生との最後の会話でした。

2/18 東晶大飯店にて

私自身、山田先生がお亡くなりになった感覚が未だなく、武道館や大宮公園にいても、ひょっこり出てきそうな気がしてなりません。

最後になりますが、山田先生のご冥福をお祈り申し上げます。そして、長い間大変お疲れさまでした。

## ＜大会結果＞

### ●新人大会兼県民スポーツ大会

10 月 6 日（金）～8 日（日）大宮公園弓道場

○男子団体／①所沢北Ａ（知久莞汰、長瀬陽平、関戸琉偉、飯村公亮）、②深谷第一Ａ（須藤琢磨、藤田　碧、羽切章太、篠田桜希）、③浦和実業Ａ（山本悠斗、田村響介、島田明昇、酒井爽良）、④大宮東Ａ（児玉浩希、大澤琉空、竹内文哉、百木敦海）、⑤伊奈学園総合Ａ（須永賢祐、長谷川光、山本琉斗、澁川侑弥）、⑥星野Ａ（氷室佑人、鈴木颯斗、川上諒成、齊藤　慧）、⑦秩父農工科学Ａ（佐藤誠拳、引間達哉、北堀祐成、若林虎太郎）、⑧草加西Ａ（井上恵仁、田島春哉、上野健一、船山蓮羽）

○女子団体／①星野Ａ（町田理華、吉田恭子、上妻　愛、永井愛莉）、②久喜Ａ（中村美緒、結城花菜、秋山真緒、尾澤志織）、③岩槻商業Ａ（下山　凜、吉田優衣、橋爪瑠依、芳野七海）、④東農大三Ａ（芹澤志歩、伊藤瑞姫、小出由理、永峰明音）、⑤鳩ヶ谷Ｂ（森田　稟、大熊海尋、舘野都美、宗方日向咲）、⑥大宮東Ａ（永井心菜、西内瑞羽、新井結衣、須藤栄佳）、⑦秋草学園Ａ（河野杏奈、岩佐亜輝菜、高橋菜月、竹田藍裡）、⑧桶川Ａ（松永保乃、小林莉子、岡崎優菜、黒﨑ななみ）

※男女団体 1 ～ 3 位は東日本高校弓道大会に出場

○男子個人／①大竹准平（春日部）、②宮﨑　陸（川越南）、③児玉浩希（大宮東）、④飯田椋介（川口北）、⑤田口宜知（東農大三）、⑥髙野璃生（川越）、⑦須永賢祐（伊奈学園総合）、⑧其上達也（東農大三）○女子個人／①杉澤彩乙（伊奈学園総合）、②篠和佳奈（川口北）、③細沼希乃風（滑川総合）、④高橋穂乃佳（川口北）、⑤町田理華（星野）、⑥由良優泉菜（草加西）、⑦佐藤　結（狭山ヶ丘）、⑧稲田　葵（川口市立）

### ●高校弓道選手権兼全国選抜県予選

11 月 4 日（土）、5 日（日）、11 日（土）

大宮公園弓道場

○女子団体／①大宮東Ａ（永井心菜、西内瑞羽、須藤栄佳、新井結衣）、②本庄Ａ（金澤しおり、石原　葵、逸見菜月、清水彩乃）、③坂戸西Ａ（閑野　倫、若松里香、河内來花、金子　渚）、④東農大三Ａ（芹澤志歩、原田紗羽、田口莉杏、小出由理）○男子団体／①浦和Ａ（松田昂成、綾部敬太、佐野貴也、鍬田広大）、②越ヶ谷Ａ（内村　匠、小口　遼、矢路川優大、河村琉斗）、③武蔵越生Ａ（足立遼太、新江悠人、岡田弥麓、齋藤龍之介）、④川越Ａ（髙野璃生、秋馬充雄、渡邊健太、金子和徳）

○女子個人／①石上依吹（武蔵越生）、②野村理恵（入間向陽）、③長島未侑（川越南）、④川合菜花（秩父農工科学）、⑤小島葉菜（浦和西）、⑥新井海結（東農大三）、⑦金澤しおり（本庄）、⑧安藤結愛（本庄）○男子個人／①足立遼太（武蔵越生）、②小口　遼（越ヶ谷）、③大竹准平（春日部）、④羽切章太（深谷第一）、⑤松田昂成（浦和）、⑥川瀬元希（入間向陽）、⑦川上諒成（星野）、⑧田口宜知（東農大三）

●第 42 回全国高等学校弓道選抜大会

12 月 23 日（土）～ 25 日（月）

東京武道館大武道場

○女子個人／①石上依吹（武蔵越生）※技能優秀

●第 23 回東日本高等学校弓道大会

3 月 22 日（金）～ 24 日（日）

横須賀市総合体育会館メインアリーナ

○男子 5 人制団体／②深谷第一（須藤琢磨、藤田　碧、ミラネスユキヒコ、山田光風、羽切章太、髙橋寿泉、篠田桜希）

※深谷第一は来年度推薦出場

○女子 3 人制団体／③岩槻商業（下山　凜、芳野七海、橋爪瑠依、吉田優衣）

# 大会・射会入賞記録

●第 35 回ねんりんピック愛顔（えがお）のえひめ 2023 弓道交流大会

令和 5 年 10 月 28 日（土）～ 30 日（月）

愛媛県総合運動公園弓道場

○さいたま市代表選手：仲田孝雄（上尾）、後藤　繁（駒場）、中島美佐子（大宮）、須原暢（大宮）、須藤敦子（大宮）、池田浩次（大宮）、佐々木直子（大宮）　監督:池田浩次（大宮）

○県代表選手：出下晃一郎（朝霞）、野瀬武博（富士見）、初田美代子（桶川）、塩田平一（幸手）、小島玄二（熊谷公園）、杉山浩子（上尾）、木元　茂（深谷）　監督:出下晃一郎（朝霞）

●第 145 回明治神宮奉納全国弓道大会

令和 5 年 11 月 3 日（金・祝）　全日本弓道連盟中央道場 / 明治神宮武道場至誠館弓道場

参加：有段者の部 948 名、称号者の部 343 名

○有段者の部：⑤清住洋恵（所沢）

○称号者の部：⑨生方美代（記念）⑩大樂真健（記念）

●第 21 回埼玉県武道大会【弓道の部】

令和 5 年 11 月 25 日（土）　ひだかアリーナ

参加 147 名（高校男女・一般男女　選手各 5 名＋監督各 1 名　7 支部計 147 名）

○支部対抗の部団体：①東部支部②西部支部③中部支部

○高校女子の部個人：①由良優泉菜（草加西）②岩田みづほ（所沢北）③芹澤志歩（東農大三）

○高校男子の部個人：①田鎖遼馬（本庄）②森樹生（伊奈学園総合）③須永賢祐（伊奈学園総合）

○一般女子の部個人：①五十川実千恵（吉川）②加藤祐子（記念）③関口淳子（熊谷公園）

○一般男子の部個人：①平塚雄一（富士見）②福島　實（越谷）③三田　明（春日部）

●第 74 回全日本弓道遠的選手権大会

令和 5 年 11 月 25 日（土）・26 日（日）

全日本弓道連盟中央道場

参加：女子の部 83 名、男子の部 94 名

女子の部:藤井澄恵（越谷）、小野千絵美（記念）<いずれも決勝進出>

男子の部：青木　豊（行田）、千葉秀明（毛呂山）

●第 42 回全国高等学校弓道選抜大会
令和 5 年 12 月 23 日（土）～ 25 日（月）
東京武道館大武道場
参加：団体 51 校、個人男子 98 名、女子 100 名
○個人女子の部：優勝並びに技能優秀者 石上依吹（武蔵越生）

●令和 6 年埼玉県弓道連盟新年初射会
令和 6 年 1 月 8 日（月・祝） ひだかアリーナ
参加 134 名（称号者 112 名、有段者 22 名）
○称号者の部：①高橋かおる（久喜）②西崎明伸（入間）③岡芹喜行（本庄）④大野宏之（川口）⑤増田裕子（所沢）
○有段者の部：①千葉秀明（毛呂山）②赤尾恭（蕨）③丸山　彰（皆野町）④白石美奈子（大宮）⑤谷口郁子（松伏）

●第 45 回埼弓連女子部弓道大会
令和 6 年 3 月 2 日（土）　埼玉県立武道館
参加：227 名（三段以下の部 84 名、四・五段の部 94 名、称号者の部 49 名）
○三段以下の部：①宮澤佳菜（記念）②安高由紀子（和光）③中出記久美（記念）④佐藤真由美（記念）⑤記内順子（蕨）
○四・五段の部：①河原有里（吉川）②森下珠美（所沢）③錺間恵美（大宮）④鈴木貴子（川越）⑤宮森いずみ（吉川）
○称号者の部：①五十川実千恵（吉川）②初田美代子（桶川）③宮澤梢枝（川口）④武田さおり（朝霞）⑤佐藤さつき（大宮）
知事杯：五十川実千恵（吉川）、技能賞：宮澤佳菜（記念）

●第 71 回全日本勤労者弓道選手権大会・埼玉県予選
令和 6 年 3 月 9 日（土）　埼玉県立武道館
参加：9 チーム（32 名）
○団体：①ホンダ埼玉（京田元志・日木　豊・伊藤隆司）②所沢市役所 A（澤田靖子・石川淳子・廣川澄芳）③航空自衛隊入間 A（加藤則康・小松義英・大石康彦）
※上位 2 チーム（3 位は補欠）は、令和 6 年 6 月 8 日（土）～ 9 日（日）に滋賀県で行われる第 71 回全日本勤労者弓道選手権大会に出場予定

# 支部通信

## 秩父支部

支部長　町田　文利

### 令和 6 年度に当たって

支部長 **町田　文利**

春の訪れと共に、秩父支部では総会の開催や、県下三道大会の準備とあわただしい時期となりました。恒例の県下三道大会は従来の形に戻しての開催となり、活気ある大会となるよう期待しています。しかし、一方で支部大会役員の運営は厳しい状況です。会員の高齢化が進む中で、毎年恒例と言いながらも、選手として参加しながら運営役員を務めることが大変になってきています。

高齢化といえば月刊「弓道」で「私と弓道」と題してねんりんピックに出場されたシニア弓道家の連載を読みました。年齢は関係なく弓に対する情熱、普段の健康管理、何より弓道によって毎日楽しく過ごしている姿に感銘を受けました。正に生涯スポーツとしての弓道の手本と思いました。

### ＜競技・講習会＞

●第 4 回支部カップ戦
令和 5 年 10 月 29 日（日）秩父市第 1 弓道場
参加 75 名
○中学生：①松田小都②黒沢愛織③若林蒼涼
○高校男子：①若林虎太郎②内田光弥 ③石田大和
○高校女子：①川合菜花②篠田珠里③黒澤虹未
○一般男子：①清水慶一②石田徳光③町田文利
○一般女子：①吉澤和代②大野きみ③齋藤公子

●第 5 回支部カップ戦納射会
令和 5 年 12 月 17 日（日）秩父市第 1 弓道場
参加 68 名
○中学生：①引間晴哉②古川陽菜③星野朝輝
○高校男子：①伊藤正翔②佐藤　颯 ③引間達哉
○高校女子：①荻原亜美②井上亜優③飯塚怜奈
○一般男子：①川西俊祐②石田徳光③清水慶一
○一般女子：①井上美根子②齋藤公子③町田昭代

**●第 6 回支部カップ戦初射会**

令和 6 年 1 月 14 日（日）秩父市第 1 弓道場
参加 72 名
○中学生 :①澤登真尋②星野朝輝③引間晴哉
○高校男子 :①松田丈成②北堀祐成③引間達哉
○高校女子 :①田口乃愛②飯塚怜奈③小泉陽加
○一般男子 :①川西俊祐②亀井建司③三橋正博
○一般女子 :①井上美根子②瀬戸美代子③齋藤公子

**●秩父郡市高等学校弓道大会（四高戦）**

令和 6 年 3 月 29 日（金）秩父市第 1 弓道場
参加 28 名
○団体戦 :①秩父農工科学高校男子 A チーム
（引間達哉、内田光弥、北堀祐成、石田大和、松田丈成）
②秩父農工科学高校男子 B チーム
（佐藤誠拳、茂木敦也、浅賀鉄平、久保　睦）
③秩父農工科学高校女子 A チーム
（井上亜優、本橋マリア 、黒澤虹未、小泉陽加、田口乃愛）
○男子個人 :①松田丈成（秩父農工科学高校）
②佐藤誠拳（秩父農工科学高校）③内田光弥（秩父農工科学高校）
○女子個人 :①田口乃愛（秩父農工科学高校）
②黒澤虹未（秩父農工科学高校）③荻原亜美（秩父高校）

**●支部四段以下講習会**

令和 5 年 9 月 10 日（日）秩父市第 1 弓道場
参加 23 名 講師：秩父支部指導委員

**●支部臨時講習会**

令和 6 年 2 月 18 日（日）秩父市第 1 弓道場
参加 14 名 講師：秩父支部指導委員

普段なかなか稽古できていない介添を中心とした講習会を行いました。苦手意識から介添を避ける傾向がありますが、回数を重ねれば動作が身についてきます。受講生は積極的に取り組んでもらいました。

**●支部高校生講習会**

令和 6 年 3 月 20 日（水）秩父市第 1 弓道場
参加 20 名 講師：秩父支部指導委員

# 県　北　支　部

支部長　高橋　久雄

## コロナ禍を経て

支部長　**高橋　久雄**

県北支部では、コロナ禍で道場毎に行っていた射会が、今年から他道場の会員にも門戸を開く連盟が増えます。大勢の仲間が一同に集う機会も多くなります。コロナに注意しつつも、新しい仲間との交流が楽しみです。

以下は支部内のトピックスです。

**●妻沼聖天山弓道大会**（令和 6 年 4 月 7 日）

妻沼聖天山弓道大会は平成 8 年聖天様の国宝ご開帳に合わせた付祭の一つとして始まりました。会場は参道に特設した野天のため天候不順のときは中止になることもあり、最近はコロナ禍で中断していました。

今年は関係者の努力も実り、久々に開催できました。このため参加者は 370 名程に上り、射数四ツ矢 3 回の予定が 2 回と減じました。県内各地や群馬県など近隣の会員が一堂に会し、桜を愛でながらの楽しい射会となりました。

（主催：熊谷市武道館弓道会）

**●熊谷運動公園弓道場から**

今年 1 月夜、遠的射場の天井から突然アライグマが落ちてきました。

そのアライグマが道場内を歩き回り、あちこちに糞や汚物を巻き散らかしたため、管理事務所による捕獲と道場の清掃・消毒、天井の修復を行って貰いました。

この騒動で道場が一週間ほど閉館となり、開館後改めて会員による清掃を実施しましたが、審査会等のために保管していた毛布や座布団が引っかかれたり汚れたりしていたため、多数破棄する事態となりました。

## ＜競技・講習会＞

**●第 3 回支部カップ戦**

令和 5 年 10 月 29 日（日）熊谷運動公園弓道場
参加 82 名　優勝：鴻巣（戸田周一、陸他隆之、原　昌彦）　準優勝：熊谷（関口尚人、関口淳子、坂本温見）　一部 :①原　昌彦（鴻巣）、②若林孝子（本庄）、③荘子宏幸（熊谷公園）、④西岡謙市朗（深谷 BT)、⑤蓑輪匡一（本庄）　二部 :①関口尚人（熊谷公園）、②堀江匡明（鴻巣）、③馬場信真（熊谷公園）、④山下広二（鴻巣）、⑤村田博之（熊谷武道館）　三部 :①田口宜知（熊谷武道館）、②田中秀幸（羽生）、③比嘉　宏（羽生）、④住谷光彦（羽生）、⑤坂本温見（熊谷公園）

**●支部初射会兼昇段昇格者祝射会**

令和 6 年 1 月 14 日（日）熊谷運動公園弓道場
参加 33 名　称号 :①島崎崇光（行田）、②岡芹喜行（本庄）、③蓑輪匡一（本庄）、④茂木昭夫（熊谷公園）、⑤蜂須明子（熊谷公園）　有段：①加藤孝一（羽生）、②長井敦史（熊谷公園）、③山下広二（鴻巣）、④秋山雅成（寄居）、⑤荻原明美（鴻巣）

**●県北高校生大会**

令和 6 年 3 月 29 日（金）熊谷運動公園弓道場
参加：男子 124 名、女子 125 名　校数：14 校
男子優秀校：深谷第一高等学校
女子優秀校：正智深谷高等学校
個人:男子:①篠塚晴仁（本庄）、②吉田将輝（成徳深谷）、③ミラネスユキヒコ（深谷第一）、④須藤琢磨（深谷第一）、⑤羽切章太（深谷第一）
女子 :①金谷笑幸（正智深谷）、②小林舞桜（寄居城北）、③高松実夢（正智深谷）、④山﨑菜之花（正智深谷）、⑤上原彩蘭（成徳深谷）

**●県北支部第 3 回講習会**

【参段 / 四段】
○令和 5 年 11 月 26 日（日）　深谷市総合体育館弓道場　参加 16 名　講師：高橋久雄教士
○令和 5 年 11 月 29 日（水）　本庄市若泉運動公園弓道場　参加 9 名　講師：岡芹喜行教士
【初段 / 弐段】
○令和 5 年 11 月 26 日（日）　行田市総合公園弓道場　参加 15 名　講師：島村保男教士
○令和 5 年 11 月 29 日（水）　寄居町弓道場
　参加 4 名　講師：茂木昭夫教士

**●高校生講習会**

令和 6 年 3 月 23 日（土）寄居町弓道場、熊谷運動公園弓道場、行田市総合公園弓道場
3 会場で午前・午後　計 6 グループに別れ実施
　参加 146 名

# 東　部　支　部

支部長　二見富士夫

## 加須市弓道連盟が新しく設立されました

加須市弓道連盟会長　**小野田恵子**

このたび、4 月 1 日より加須市弓道連盟が新しく設立され、東部支部に所属することになりましたので、紹介させていただきます。

私は医師であり、いつまでも元気でいたい、と患者さんの強い思いを日々感じています。自分自身も激務のため、健康不安を感じており、大学時代にやっていた弓道を再開したいと思うようになりました。弓道は年齢、性別を問わず生涯スポーツとして、健康維持、健康増進に有効であることから、弓道の普及活動を考え始めました。また、埼玉県北部には弓道場がなく、以前から弓道場の必要性を感じていたため、弓道場設立のための活動も必要だと思うようになりました。

そこで、弓道の普及、弓道場設立のために、「健康に、自分らしくすごすために！」をモットーに、2022 年 11 月に有志 6 名で加須市弓道同好会を設立しました。

活動は、私の医院の駐車場から始まり、コミュニティーセンター、加須市民体育館等で行なってきました。現在は、多方面に交渉を重ね、誠和福祉高校弓道場（日曜日）、大利根文化体育館アリーナ（水曜日）で稽古を行なっています。稽古には、平均 20 名前後が参加しており、指導体制は、加須市出身の称号者の先生、教育機関弓道部顧問の先生を中心に指導を行なっていただいています。また、動画等を用いて客観的評価を行ない、指導者は情報を共有し、射技や体配の向上に役立てています。

同好会の会員は 140 名、その中の 31 名が加須市弓道連盟に登録しました。久しぶりに再開した会員や新規に開始という会員が多いため、皆様にご迷惑をおかけしないよう、教育指導に努めて参ります。

最後に、加須市弓道連盟の新規設立のため、埼玉県弓道連盟の先生方には大変なご尽力をいただき、とても感謝しております。

本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

## ＜競技・講習会＞

**●支部納射会**
令和 5 年 12 月 23 日（土）大宮公園弓道場
参加 90 名　5 段以上昇格・昇段者 14 名による
お披露目　個人①松本瑞世（北本）②細野隆志（春日部）③三田　明（春日部）

**●支部新年初射会**
令和 6 年 1 月 7 日（日）大宮公園弓道場
参加 97 名　個人①三田　明（春日部）②遠田弘志（幸手）③二見富士夫（春日部）　余興的獲得戦

**●支部総会射会**
令和 6 年 3 月 17 日（日）大宮公園弓道場
参加 88 名　個人①吉田敬子（上尾）②元村友洋（宮代）③三田　明（春日部）

**●県南東部支部高校生大会**
令和 6 年 3 月 23 日（土）24 日（日）大宮公園弓道場　参加女子 337 名　参加男子 291 名　女子団体③伊奈学園総合Ｆ　男子団体①春日部Ｃ③伊奈学園総合Ｂ　女子個人②田辺莉那（伊奈学園総合)④小林莉子（桶川)⑥杉澤彩乙（伊奈学園総合）　男子個人②福井悠人（春日部)③川口太煌（杉戸農業)④大竹准平（春日部）　女子個人技能優秀賞・杉澤彩乙（伊奈学園総合)・原国紗彩（久喜)・加藤さつき（花咲徳栄）　男子個人技能優秀賞・須永賢祐（伊奈学園総合)・作山大悟（杉戸農業)・福井悠人（春日部）

**●第６回講習会（一般の部）**
令和 5 年 10 月 21 日（土）大宮公園弓道場
参加 31 名　講師：北原きい子、大上直美、村上節子　各教士　内容:射礼研修（一つ的射礼、持的射礼）

**●第７回講習会（一般の部）**
令和 6 年 2 月 4 日（日）（午前・午後分割制）
幸手市立武道館弓道場　参加　午前 27 名　午後 27 名　講師：大上直美、村上節子、仲田孝雄　各教士、新井　満錬士　内容：射技指導、入退場礼の確認、立ち方、座り方、開き足、呼吸の使い方

**●第８回講習会（高校生の部）**
令和 6 年 3 月 25 日（月）（午前・午後分割制）
大宮公園弓道場　参加　午前 33 名　午後 35 名
講師:綾戸岩雄、村上節子　各教士、山本管子、南雲三枝子、細野隆志、大槻良雄　各錬士
内容：審査方式・体配、射技指導

**●第８回講習会（高校生の部）**
令和 6 年 3 月 26 日（火）（午前・午後分割制）
大宮公園弓道場　参加　午前 40 名　午後 42 名
講師：大上直美、村上広子、仲田孝雄、富永剛志　各教士、赤塚幾子、新井　満　各錬士　内容：審査方式・体配、射技指導

# 県　南　支　部
支部長　鹿野　信恵

## 県南支部近況

支部長　**鹿野 信恵**

緑の森公園越谷市弓道場の直ぐ目の前の公園内に、大きな八重の紅枝垂れ桜があります。風にそよぐピンクの枝垂れはとても見事で、越谷市の隠れた名所になっています。

そんな枝垂れ桜の蕾もまだ固い去る 3 月、2 日間にわたって県南支部合宿研修会が開催されました。コロナ禍で長らく見送られてきましたが、今年ようやく 4 年振りに開催の運びとなり、1 日目は緑の森公園越谷市弓道場、2 日目は川口市青木町公園弓道場にて計 80 名の参加者を迎えて開催いたしました。

例年は支部会員の親睦も兼ねて 1 泊 2 日の合宿形式で実施されていましたが、今回は 1 日目・2 日目を別参加者で実施する 1 日完結型の初の試みで開催し、25 才の若手から喜寿・傘寿の大先輩まで幅広い参加者を迎えて賑やかに執り行われました。

研修会は射技指導を中心とし、支部内の谷口先生、瀧上先生、加藤先生と鹿野を講師に、たいへん熱のこもった内容となりました。

持ち廻り当番の蕨・戸田両連盟の皆さまには本会の企画・運営全般で多大なるご尽力を頂き、参加会員には得るものの多い研修会になったものと思います。

以前のように我慢を強いられることも少なくなり、諸々の支部行事を通常通り行えることの幸せを実感しつつ、令和 6 年度も共に一意専心活動して参りたいと思います。

どうぞ宜しくお願いいたします。

## ＜競技・講習会＞

**●令和 5 年度 県南支部納射会**
令和 5 年 12 月 3 日（日）大宮公園弓道場
参加 76 名
個人①瀧上三郎（吉川)②森　俊人（吉川)③宮﨑正範（吉川）

**●令和 6 年 県南支部初射会**
令和 6 年 1 月 21 日（日）大宮公園弓道場
参加 88 名
個人①桑本眞美（越谷)②宮﨑正範（吉川)③福島　實（越谷）

**●令和 6 年 県南支部総会射会**
令和 6 年 3 月 20 日（水･祝）
大宮公園弓道場　参加 83 名
個人①郡司　勉（吉川)②前川琢也（草加)③宮崎正範（吉川）

**●令和 5 年度 第 3 回講習会**
弐段以下の部
令和 6 年 2 月 3 日（土）
緑の森公園越谷市弓道場
参加 27 名
講師：森　正一教士、佐々木睦美錬士

**●令和 5 年度 第 3 回講習会**
参・四段の部
令和6年2月4日(日）川口市青木町公園弓道場
参加 35 名
講師：加藤睦正、稲見三枝子　各教士

**●令和 5 年度 高校生講習会**
令和 6 年 2 月 12 日（月･祝）
大宮公園弓道場　参加 68 名
講師：大竹淑夫、有ケ谷将人　各教士、藤井澄恵、五十川実千恵、中村尚美、五十川英俊　各錬士
※講習内容は各段位に応じて体配・射技指導等を実施

**●県南東部高校選手権**
令和 6 年 3 月 23 日（土）大宮公園弓道場
審判員協力　鈴木多恵子教士

**●令和 5 年度 県南支部合宿研修会**
令和 6 年 3 月 16 日（土）緑の森公園越谷市弓道場　参加 44 名
令和 6 年 3 月 17 日（日）川口市青木町公園弓道場　参加 36 名

画・松本

# 県　央　支　部
支部長　荒井　渉

## 道場紹介「与野弓道会」

与野弓道会　**松平　健児**

与野弓道会は、埼弓連だより第７１号の岡田義助先生の「思い出（後半)」の中でも触れて頂きましたが、当時、与野市の市議会議員でありました岡田義助先生のお兄様の働きかけにより、与野市に公的な弓道場がないため、与野高校の中にある道場を土、日、祝日などを中心に一般開放して頂くというかたちで、平成９年より活動を開始致しました。

実際活動している正会員は、10 名程度とごく少数で活動をしておりますが、準会員という枠を設けることで、広く門戸を開き、様々な方と一緒に稽古ができる機会となっております。

年末年始でも高校の道場を一般開放して頂いており、12 月 31 日に開催している年末の射会が恒例行事となっております。会員以外でも参加を歓迎しているため、楽しみにされている方も多い会の行事の一つです。

コロナ禍では、感染防止の観点から県の方針により一般開放の許可がおりず、１年ほとんど稽古ができないという時期があり、ただでさえ少ない会員の何人かが離れるきっかけとなってしまいました。

新たな会員を増やすことが課題となっておりますが、支部や準会員などいろいろな方々に支えられ、少人数ではございますが各人工夫をしながら日々稽古に励んでおります。

### ＜競技・講習会＞

**●武道大会最終選考会**
令和 5 年 10 月 1 日（日）　大宮武道館弓道場
参加 60 名　代表 10 名選出　○一般男子／今泉雄仁（大宮)、町田智行（岩槻)、岩﨑建次（記念)、亀沢光治（記念)、大樂真健（記念）
○一般女子／フビジィエンヘザヤ（記念)、戸部美穂（駒場)、森　典子（大宮)、鈴木奈穂子(大宮)、加藤祐子（記念）

**●市民体育大会（一般の部）**
令和 5 年 10 月 15 日（日）　大宮公園弓道場
参加 137 名　○団体①大宮 1（今泉雄仁・赤嶺直之･内野亜香)②大宮 G（森　典子･橋詰伸二･小林ミワ)③記念 C（岩﨑建次・フビジィエンヘ

ザヤ・加藤祐子)○個人男子①赤嶺直之（野木）②大樂真健（記念)③池田浩次（大宮)○個人女子①山岸繭子（駒場)②山崎美有紀（大宮)③小林ミワ（大宮）

**●市民体育大会（高校の部）**

令和5年10月29日（日） 大宮公園弓道場
参加559名 ○男子団体①大宮東B（百木・大澤・鈴木)②大宮A（市川・加藤・杉浦)③浦和実業A（山本・田村・島田)○女子団体①大宮南A（山﨑・岡田・村田)②大宮東A（永井・西内・須藤)③岩槻商業A（下山・芳野・橋爪）○個人男子①鈴木天雅（大宮東)②杉浦暖人（大宮)③鈴木悠斗（浦和東)○個人女子①下山 凛(岩槻商業)②岡田歩愛（大宮南)③永井心菜（大宮東）

**●県央支部杯・市選手権大会**

令和5年11月19日（日） 大宮公園弓道場
参加91名 ○団体①筑紫武人（記念）熊谷良子（大宮）中村光広（岩槻)②井田晴久（大宮）有吉眞菜（大宮）小野千絵美（記念)③北島康弘（記念）辻 秀代（大宮）武政宏美（岩槻）個人○称号者①池田浩次（大宮)②中島幸子（大宮)③小澤伸江（大宮)○四五段①井田晴久（大宮)②設楽貴代子（駒場)③北島康弘（記念）○参段以下①田邉恭司(駒場)②木下靖子(岩槻)③坂本 亮（駒場）

**●浅野有三先生範士昇格祝射会・県央支部納射会**

令和5年12月16日（土） 大宮公園弓道場
参加130名 ○称号者①大樂真健（記念)②廣松 弘（駒場)③浅子好夫（大宮)○四五段①錺間恵美（大宮)②吉嶺暢嗣（記念)③中倉友佳里（大宮)○参段以下①石田悦子（記念)②川邉秀一（記念)③吉澤幸子（岩槻）

**●県央支部初射会**

令和6年1月6日（土） 大宮公園弓道場
参加118名 ①秋山貴美雄（駒場)②谷内雅史(記念)③瀬田 稔（大宮）

**●県央支部総会射会**

令和6年3月16日（土） 大宮公園弓道場
参加77名 ①仁木弘之（駒場)②錺間恵美（大宮)③中村光広（岩槻）

**●春季高校生（中学生）大会**

令和6年3月28日（木）女子、29日（金）男子 大宮公園弓道場 参加669名
○男子団体①浦和実業D（坂本・田村・池田）②大宮東A（児玉・森川・髙橋)③浦和A（綾部・松田・山口)○女子団体①岩槻商業A(下山・芳野・橋爪)②浦和西A（福島・寺岸・小島)③浦和北A（丸山・岩淵・森田)○個人男子①児玉浩希（大宮東)②池田周史（浦和実業)③田村響介（浦和実業)○個人女子①芳野七海（岩槻商業)②橋爪瑠依（岩槻商業)③小島葉菜（浦和西)○中学生個人①市野川眞那（市立浦和中)②井上咲花（市立浦和中)③近藤優里（市立浦和中）

**●五段講習会**

令和5年12月2日（土） 大宮公園弓道場
参加20名 講師：本橋民夫、古泉利昭、北原理絵 各教士 内容：介添講評、一手行射、射技解説、射技指導、持的射礼、一手行射

**●参・四段講習会**

令和6年1月27日（土） 大宮武道館弓道場
参加38名 講師：鷹巣光子、池田浩次、蓮見文子 各教士 内容：肌脱ぎ・襷さばき等の注意点の解説、一手行射、射技指導解説、射技指導

**●弐段以下講習会**

令和6年1月28日（日） 大宮武道館弓道場
参加36名 講師：浅子好夫、中島美佐子、小石久枝 各教士 内容：一手行射、審査に臨むにあたっての講話、失の処理指導、射技指導

**●称号者講習会**

令和6年2月17日（土） 大宮武道館弓道場
参加30名 講師：廣松 弘、松澤かおり 各教士 内容：受講生による矢渡２回、介添研修(第一介添と第二介添の所作・合わせ方、射手との合わせ方、立射の場合の介添)、立射作法の研修、肌ぬぎ、襷さばき所作の確認

**●高校生講習会**

令和6年3月10日（日） 大宮公園弓道場
3月23日（土)・24日（日）県立武道館弓道場
参加185名 講師：廣松 弘、松澤かおり、軽込次男 各教士他、支部内称号者18名 内容：審査に向けて体配および射法八節の指導

# 西　部　支　部

支部長　池谷　茂

## 令和 6 年度の方針

支部長　**池谷　茂**

令和５年度の評議員会は 3 月 24 日に開催し、無事に皆様のご協力により終了しました。

令和６年度は昨年度に引き続き、コロナ対策を怠らず、事業の運営を行う予定です。競技・講習会については状況を鑑み、人数制限も緩和する方針です。各委員長、理事、役員、会員様のご協力が無くしては行えませんので引き続き支部の皆様にお力添えをお願いいたします。

コロナ禍に於いて各連盟の初心者教室も中止をせざるを得なかった事で、新規入会も減少しましたが、令和 5 年度は教室も再開でき新規会員が増加しました。引き続き会員増加に各連盟様のご尽力をお願いいたします。

今後とも埼弓連の先生方にはご指導ご鞭撻、よろしくお願い申し上げます。

### ＜競技・講習会＞

**●第 32 回西部支部高校弓道選手権大会（中部支部と合同）西部支部結果**

令和 5 年 11 月 14 日（火）ひだかアリーナ

○団体男子 ①所沢北 A（知久・長瀬・関戸)②所沢北 B（榎戸・南・飯村)③所沢北 I（船山・井上・渡邉）

○団体女子 ①所沢北 A（岩田・武田・梶浦)②所沢北 C（野田・竹蓋・尾島)③所沢北 B（宮﨑・福島・柴田）

○個人男子 ①飯村（所沢北)②知久（所沢北）③長瀬（所沢北）

○個人女子 ①岩田（所沢北)②竹蓋（所沢北）③尾島（所沢北）

**●支部納射会**

令和 5 年 12 月 3 日（日）所沢市民武道館弓道場
参加 128 名

○三段以下の部 ①福岡達紀（富士見）②安高由紀子（和光）③本庄準也（三芳)④萩原さや（三芳）⑤中野幸恵（ふじみ野）

○四・五段の部 ①湯浅紀美子（所沢）②武田健太郎（朝霞）③佐久間一哲（新座）④篠原妃誉（ふじみ野）⑤関口二郎（所沢）

○称号の部 ①坂井孝嘉（ふじみ野）②平舩栄治（志木)③上橋　宏（所沢）④三好啓子（所沢）⑤直井良一（新座）

○総合優勝　福岡達紀（富士見）

**●支部初射会**

令和６年 1 月 28 日（日）所沢市民武道館弓道場
参加 129 名

①出下晃一郎（朝霞)②平塚雄一（富士見)③箸蔵晴彦（和光)④奥冨季乃（所沢)⑤小山　等（所沢)⑥篠原妃誉（ふじみ野)⑦中嶋　久（朝霞）⑧猪鼻正夫（三芳)⑨中野英道（新座)⑩武田さおり（朝霞)○金的的中 福岡達紀（富士見）萩原さや（三芳）平舩栄治（志木）

**●支部総会射会**

令和 6 年 3 月 24 日（日）所沢市民武道館弓道場
参加 36 名

①長澤英俊（ふじみ野)②阿佐美和子（富士見）③相良幹男（志木)④武田健太郎（朝霞)⑤平塚雄一（富士見)⑥廣瀬雅孝（所沢)⑦関口研二（所沢）

**●第 3 回講習会**

令和 5 年 10 月 14 日（土）　弐段まで
富士見市立総合体育館弓道場　参加 32 名
講師：廣松　弘、松髙桂子　各教士
令和 5 年 10 月 15 日（日）　参・四段
朝霞市内間木公園弓道場　参加 35 名
講師：岡田義助、平山夏子　各教士

**●第 4 回講習会**

令和 6 年 2 月 4 日（日）　弐段まで
三芳町弓道場　参加 35 名
講師：鹿野信恵、橘　秀光　各教士
令和 6 年 2 月 4 日（日）　参・四段
所沢市民武道館弓道場　参加 37 名
講師：北原きい子、出下晃一郎　各教士

**●特別講習会**

令和 6 年 3 月 23 日（土）　錬士称号受有者
所沢市民武道館弓道場　参加 21 名
講師：飯島千代子範士
令和 6 年 3 月 30 日（土）　五段受有者
所沢市民武道館弓道場　参加 36 名
講師：飯島千代子範士

**●高校生春期講習会**

令和 6 年 3 月 28 日（木）　所沢市民武道館弓道場　参加　午前 22 名・午後　15 名
講師：池谷　茂、松嵜恭子　各教士

# 中　部　支　部

支部長　寳田　常則

## 川越市弓道連盟の活動

川越市弓道連盟　**川口えり子**

**●はじめに**

昨年 10 月 29 日、川越市弓道連盟恒例の初雁弓道大会（第 22 回）を、131 名におよぶ近隣の皆様をお迎えして 4 年ぶりに開催することができました。当連盟会員を併せて 168 名の参加者による大会会場は和やかな活気にあふれ、弓を通じて触れ合える秋の有難い一日となりました。

ここに改めて、ご参加ご協力頂きました皆様に心より感謝申し上げます。

以下、当連盟の年間行事の中で、外部の皆様と交流させて頂く活動の一部を取り上げ、ここにご紹介させて頂きます。

**●市内高校弓道王座決定戦**

春は、毎年市内高校弓道部の皆さんをお招きして行われる「市内高校弓道王座決定戦」から始まります。令和 6 年度で 48 回目を迎えるこの決定戦は、昭和 25（1950）年に発足しました当連盟の歴史の中でも初期の志しを繋ぐ大会として連綿と受け継がれてきました。川越市内には、弓道部をもつ高校が 8 校あります。令和 5 年度の同大会参加高校生は 250 名を上回り、ほぼ全弓道部員の皆さんに参加して頂きました。顧問の先生方からは、「日頃表舞台に立てない部員にとって、これほど有難い大会はありません」というお言葉を頂くほど、全員参加の貴重な大会として大切な位置を占めてきました。

受け渡される優勝カップの記念すべき第 1 回優勝チームのペナントには、当時川越高校生であった 2015 年ノーベル物理学賞受賞の梶田隆章氏のお名前も記されています。高校生の熱気やる気は、行射前に円陣を組んで互いに檄を飛ばし合い、行射後に悔し涙を流す姿からも、熱い思いとして伝わってきます。

**●川越市生涯スポーツフェスティバル**

秋は大会の季節です。9 月の市民体育祭、10 月の初雁弓道大会が終わると、四半的弓具を用意して川越市民の皆さんにミニ弓道を体験して頂く川越市生涯スポーツフェスティバル（以下スポフェス）が待っています。川越市弓道連盟は、川越市スポーツ協会の理事団体として市のスポーツ振興を支援し、毎年スポフェスでは当連盟会員 15 名が一日その指導にあたります。令和 5 年度の第 20 回スポフェスでは、延べ 470 名の市民の皆さんに四半的ミニ弓道を体験して頂きました。この数はスポフェスで体験できる 26 のスポーツの中でも群を抜いた参加者数であり、弓道人気もさることながら、連盟会員のインパクトある企画もミニ弓道盛り上げに一役買っています。春の川越市武道大会でご一緒する柔道連盟様からは、「うらやましい限りです」という称賛とねぎらいのお言葉を頂いています。

**●おわりに**

当連盟の活動場所である川越武道館弓道場は、朝 9 時から夜 9 時まで入れ代わり立ち代わり稽古に励む会員の往来で賑わっています。令和 5 年度は、コロナが収束に向かうことへの期待感からなのでしょう、弓道を再開したいとの問い合わせが増え、20 名の弓道経験者が入会しました。初心者弓道教室からの入会者 17 名を加えて会員数は現在 170 名を超え、ますます活気溢れる道場になっていきます。今後も危険防止を第一に、誰もが心地よく稽古に励める環境づくりを心掛けながら、日々会員の精進は続いてまいります。

## ＜競技・講習会＞

**●第 23 回西部地区高等学校弓道大会**
**兼　読売新聞さいたま支局長杯争奪戦**
令和 5 年 11 月 14 日（火）ひだかアリーナ
参加　男子 82 組　女子 107 組
男子団体①東農大三 A（田口宣知・鈴木　櫻・其上達也)③坂戸西 A（齊藤咲人・小松源大・奥村以榛）男子個人①田口宣知（東農大三)②其上達也（東農大三)③眞﨑恵秋（坂戸西）
女子団体①東農大三 A（芦澤志歩・原田紗羽・小出由里)②坂戸西 A（閑野　倫・若松里香・河内來花)③川越南 B（田中美羽・長島未侑・春　凛香）女子個人①伊藤香穂（東野)②小出由里（東農大三)③田中美羽（川越南）

**●支部納射会**
令和 5 年 12 月 10 日（日）ひだかアリーナ
参加 79 名
四段までの部　①伊藤謙吾（小川)②嶋田　誠(ボッシュ)③江黒孝夫（東松山）
五段以上の部　①島田　勲（小川)②瀬戸達雄(川越)③須田明江（入間）

**●支部初射会（昇段昇格者表彰）**
令和 6 年 1 月 21 日（日）ひだかアリーナ
参加 88 名
①千葉秀明（毛呂山)②松井康久（鶴ヶ島）
③西崎明伸（入間）

**●西部地区高等学校弓道大会**
令和 6 年 2 月 3 日（土）ひだかアリーナ
参加　男子 80 組女子 99 組
男子団体①川越 A（秋馬充雄・近藤奏良・渡邊健太)③川越南 B(印野　陽･宮﨑　陸･嶋田尚輝)
男子個人①宮﨑　陸 (川越南)②田村虎太郎（西武文理)③森田月雲（川越南）
女子団体①武蔵越生 A（高荷美雪･佐藤菜緒南･石上依吹)②秋草学園 B（高橋和花・高橋菜月・前川真穂)③坂戸西 D（島村紗莉菜・新松美波・菊地友実）女子個人①村澤宥来（入間向陽）
②佐藤　結（狭山ヶ丘)③新松美波（坂戸西）

**●支部評議員会射会**
令和 6 年 3 月 31 日（日）ひだかアリーナ
参加　85 名
①千葉秀明（毛呂山)②中北尚亮（入間)③荒井智子（鶴ヶ島）

**●支部指導者講習会**
令和 5 年 12 月 10 日（日）ひだかアリーナ
参加　四段～教七 33 名　講師：市川政子教士

**●第４回支部講習会**
令和 6 年 2 月 4 日（日）ひだかアリーナ
参加：弐段以下 38 名　参四段 42 名合計 80 名
講師：市川政子、高木　渡、那須允良、吉澤郷実　各教士

# トピックス

## 大宮公園弓道場の扁額『勇美』は誰の書

編集委員　**大塚　経子**

**１『勇美』の揮毫は千葉胤次（たねつぐ）先生**

大宮公園弓道場は、令和 4 年度の全面改修工事で内装を一新し、矢道脇の両側に強化ガラス製の防矢フェンスを設置しました。また創立以来、射場に掛かる『勇美』扁額の傷みを修理しました。ところで、この書はどなたの書なのでしょうか？　額の雅号は「宏斎」、落款印「千葉胤次」「弓道範士」とあることから、範士十段 千葉胤次先生の揮毫と分かりました。

今回は、扁額から見えてきた当時の埼玉県の弓道場に関係した人々を調べてみました。

大宮公園弓道場の扁額

＊以下、（ ）内の頁数は、「埼玉県弓道連盟五十周年記念誌」を参照。○印：経歴

**○千葉胤次先生について**

明治 27 年～昭和 34 年、宮城県出身。「宏斎」と号した。弓道範士十段。6 歳から柔術、9 歳から弓道、日置流を学ぶ。のち小笠原清道先生につき、小笠原弓道、並びに作法を修める。昭和13年、大日本武徳会から範士授与。先輩、諸先生方より武射系統の日置流、本多流の諸流を学ぶ。また、東京市に奉職。目黒、品川、下谷、麹町の各区長を歴任。市議会事務局長など、在任中は武道振興に努め、都や区営の道場を建設、弓道の普及振興に功績を残された。

終戦と同時に官界を退き、財団法人全日本弓道連盟会長、審議会委員長として、弓道の再建興隆に大いに尽力された。

**2 千葉先生の書がなぜ大宮公園弓道場に？**

まず弓道場の歴史から紹介。大宮公園弓道場の歴史は古く、昭和 29 年、埼玉県初の県営弓道場として創立。当時、現在の弓道場隣の県立博物館あたりの敷地にあった（現在とほぼ同じ 10 人立）。落成以来、県の主な行事は大宮公園弓道場で行われるようになった。

- 昭和 29 年「落成式、落成記念射会」「関東弓道大会」「県民体育大会兼国体県予選」
- 昭和 30 年「弓道教本第二巻」発行。教本内容普及の教本講習会を大宮公園弓道場で行う。

**〈私設弓道場の時代〉**

大宮公園弓道場の建つ以前に公営の道場は無く、私設道場のみであった。(P185)

大宮市では大宮工機内道場、須永道場（小笠原支部教場として県内で主要な位置）があった。また、大宮から北浦和は近いこともあり、大勢の弓人が教えを受けに森戸道場へ通った。

○森戸康之範士（明治 38 ～昭和 49）（昭和 26 ～県連会長）森戸道場：浦和市常盤に昭和 18 年建設（通常 3 人立）。浦中（現在の県立浦和高校）、浦商（現在の県立浦和商業高校）の師範。

道場完成後、森戸同門会を結成し多数の門人を育成。県民大会も開催。段級審査会場。昭和 26, 27 年の県体近的会場だった。

終戦前に浦上　栄先生が森戸道場で、東京近辺の女子高段者対象（森戸久恵、浦上博子含めて 5，6 名）の講習会を催す。折れた箆の継ぎ方や弾の弦枕に鏝を当てて整える方法など、基本的初歩的な弓具の取り扱いについて行われ、専門家顔負けの技術であった。(P218)

昭和 27 年 1 月に千葉胤次日弓連会長、竹内克己、鈴木伊兵衛、鈴木弘之、神永政吉、高木　棐（たすく）、村上　久、高橋英雄、稲垣源四郎の諸先生方が森戸道場に会し、その時の寄せ書きが表装されて道場中央に掲額してあった。(P218 写真)

○高木 棐範士（明治 26 年～昭和 39 年、久喜町出身）：久喜市「洗心洞」道場（国の登録有形文化財指定）、小児科医。道場には高段位者が多数来る。医学部在学中に本多利実翁に学ぶ。尾洲竹林派弓道を学び、この流派をのちに本多流とし、宗家を預かる。戦後、休日には全国から教えを求める人が長蛇の列を作り稽古した。全弓連副会長、審査会委員など要職にあり、弓道の復興と振興に尽力。現在の埼玉県弓道連盟の基礎となる「埼玉県弓道連合会」（昭和 4 年）の設立にも関わる。(P180, 197)

**3 埼玉県弓道連盟立ち上がり期の歴史** (P411 ～)

- 昭和 6 年、現在の県庁別館の地に「埼玉県武徳殿弓道場」が建ち「埼玉県弓道連合会」行事が行われる。
- 昭和 15 年、紀元 2600 年奉祝大演武で森戸康之が錬士団の部で優勝。また、紀元 2600 年奉祝明治神宮体育大会で、一般女子の部、団体優勝（石川、海野、桑原）するなど活躍。
- 昭和 16 年、大東亜戦争勃発により翌 17 年、政府主導の国粋主義的性格「大日本武徳会」を政府外郭団体として発足する。
- 昭和 21 年、終戦後、連合軍は政府干渉の武道を排除するため、「大日本武徳会」は内務大臣の命により解散させられ、弓道禁止となる。同年、埼玉においては、高木　棐氏が主唱者となり「埼玉弓友連盟」発足、県内に 4 支部（県南、県北、西部、秩父）を置く。(P121)
- 昭和 24 年、全国的には 21 ～ 23 年の弓道禁止令が解け、復興気運高まり弓道界の要人が集結し「日本弓道連盟」を創立。昭和 28 年「財団法人日本弓道連盟」設立が許可される。
- 昭和 32 年「財団法人全日本弓道連盟」改称。
- 埼玉県内では同時期（昭和 24 年）に「埼玉県

弓道連盟」を創立。創立当初の審査、競技は個人所有の道場で実施されていた。（熊谷市：松本道場、長瀞町：宝登山神社弓道場、浦和市：森戸道場）

・昭和 29 年 7 月、大宮公園弓道場が創設され、主な行事はこの県営弓道場で行われた。

・昭和 55 年 4 月、現在の場所に大宮公園弓道場を建替えた（10 人立）。

**4 浦和市営弓道場の創設、昭和 33 年**（P202）

大宮公園弓道場が建設された数年後、浦和市営弓道場が建設された。場所は、現在のさいたま市営浦和球場、西側のテニスコート内で、五十周年記念誌によると、

『浦和の円蔵寺境内に仮設道場があったが、のちに立ち退きを要求され、小島隆蔵氏が議員であったことから中心となり、川久保義典浦和市長を初代浦和市弓道連盟会長に推し、浦和市弓道連盟を創る。そうして浦和市に対して弓道場建設の要望を請願していたところ、昭和 33 年に浦和市が総合グランドの一角に弓道場建設の敷地を確保し、学校の廃材を利用した待望の市営弓道場を建設してくれた。

この道場は、間口 6 間、奥行き 4 間に控えの間が付いた当時としては堂々たる道場であった。昭和 33 年 10 月 2 日に落成披露大会が執り行われ、来賓には、松永　東前文部大臣、千葉胤次全日本弓道連盟会長、高木　棐全日本弓道連盟副会長はじめ、鈴木伊兵衛、安沢平次郎、村上　久、福原郁郎、小笠原清信、赤井一夫　各範士が出席され、地元からは、川久保義典浦和市長（当時四段）、山崎　博、森戸康之、小野忠信、小島隆蔵　各教士の他多数が出席している。

松永、千葉両先生の祝辞の後、川久保会長の矢渡、諸先生の礼射、二百名以上の参加者の礼射が盛大に執り行われた。

また、この道場は管理人の家族が裏に住みながら道場管理をしており、朝早くから夜遅くまで年中無休で使用できたため、他の市からも弓道愛好家が集まり稽古していた。後日この弓道場から沢山の弓道家が各地へ育っていった。』

**5 埼弓連顧問、岡田義助先生にお聞きしました**

お尋ねすると「千葉先生とは年代が違うため、会ったことはありません。」とのことでした。

・昭和 33 年、岡田先生は高校 1 年で弓道部に入部。学校の射場は青空で屋根は無く、朝と昼に練習、雨の日は渡り廊下で巻藁の練習。夏は暑いので、夏休み中は出来たばかりの浦和市営弓道場に通った。ここで、伊沢千珠先生と出会った。奥様も弓を引いておられ、伊沢先生宅はさいたま市立浦和高校の近くにあったので、高校 2 年からずっとお世話になったとのこと。

○伊沢千珠先生（範士八段）：埼玉県弓道連盟副会長、県立武道館の弓道主任講師を長く務める。全日本弓道連盟の役員として長く活躍。（P204）

「この浦和市営弓道場には、山崎　博、小野忠信、糸屋清次郎、鈴木俊甫、渡辺　直、岡部三郎、根岸好雄、中島善次郎、小島常男など様々な先生方が来ておられた。浦和市営道場には、道場管理の方がいて、市役所勤務の方が住み込みで管理していた。夜の 11 時近くまでやっていて、畳と囲炉裏があって将棋をやったり、弓を引いたり、今思えば何でもありの、のどかでおおらかな雰囲気であった。森戸先生は道場を持っているので浦和市営道場には来なかった。森戸先生は 34～5 ㎏の剛弓を引いていた。国体の関係で、時々来なさいと言われ、森戸道場に行ったことがある。

大学時代には、調子が悪くなった時に伊沢先生の所に行って見てもらったり、大学の合宿に来てもらったりした。」とのことでした。

・昭和 43 年、埼玉県庁の裏側に県立武道館（5 人立）が建ち、44 年から伊沢千珠先生が主任講師となったため、岡田先生も県立武道館に移る。「当時五段くらいだった。伊沢先生からは、『まだ教えられないだろうから、引いて当てていればいいよ』と言われた」。この頃、小宮栄子先生とも一緒になったとのことです。

「他にも、高校の時に見てすごいと思ったのは安沢平次郎先生。ものすごい離れ。映像が残っていたらと思う。様々な先生方との出会いがあったので、知り合って顔を知られるようになり、また様々の試合でも声を掛けられて、結果が良くなることが多くあった。」

県南支部の歴史（P204）の中で浦和市営弓道場の建設に尽力された先生方が紹介されており、岡田先生にそれらの先生の思い出を伺いました。

○山崎　博先生（県連会長昭和 30 年～）：小笠原流、塗弓の重藤を使っていた。
○小野忠信先生（県連会長昭和 34 年～）：浦和市小野耳鼻咽喉科の先生。
○小島隆蔵先生（県連会長昭和 40～47 年）：浦和市会議員、与野駅西口小島写真館。お宅の一角に弓道場があった。県立武道館の建設にも尽力。浦和市体育館弓道場の創設。全日本弓道選手権出場や国体の選手や監督として活躍した。

### 6 弓道教本の制定に関わった先生方

昭和 28 年月刊誌「弓道」を改訂。この時の専門委員は、日弓連副会長：高木　棐、評議員：小澤武雄、小野忠信、事業委員：森戸康之（浦和）、小澤武雄（秩父）と紹介されている。(P414)

この時の埼玉県弓道連盟の会長は小澤武雄先生（昭和 28 年～）、森戸康之先生（昭和 26 年～）である。

昭和 28 年は、「弓道教本第一巻」が発行された年であり、技術の補足のために纏められた「弓道教本第二巻」は昭和 30 年に発行される。

この頃に教本二巻の編集に携わった先生方は高木　棐先生、神永政吉先生、千葉胤次先生、浦上　栄先生、宇野要三郎先生である。

なお、弓道教本が出来るまでの詳細は、月刊「弓道誌 2023 年 5,6 月合併号」P13 に詳しい。

岡田先生は、これらのことから千葉胤次先生の額について、「昭和 26 年あたりの、浦和の森戸範士が県弓連会長をしていた頃の、川久保市長や小島隆蔵先生（市会議員）などの人達の繋がりではないかと思う。」と話されています。

### 7 千葉胤次先生の扁額は他にも

今も浦和駒場体育館弓道場にあります。
・昭和 49 年、駒場に浦和市体育館が創設されて浦和市営弓道場の人達はそちらと県立武道館に分かれて移る。同時に浦和市営弓道場は廃止になる。

現在、千葉胤次先生の扁額が駒場道場にあるのはそれらの経緯によると推測されます。

これらを通して、昭和 26～28 年頃の全弓連、埼弓連、市議会の要職にある先生方に繋がりがあったおかげで、当時の新設道場に、千葉胤次先生の扁額があるのだろうと思われます。

駒場弓道場の扁額

大宮公園弓道場の詳細は分かりませんでしたが、扁額の修理の際に、裏紙には古い住所や氏名が書かれた紙が使われていたことからも、当時の役所関係の方の関わりが推測されます。戦後の弓道立て直しのために、流派を超えての教本編纂の作業と、各地に弓道場を建設して整備した、当時の先生方の弓道への強い想いを感じました。

調べるほどに、創設期のご苦労はいかほどであったかと偲ばれます。

岡田先生、お話をお聞かせいただき有難うございました。

## 編集後記　７３号

今の我々の活動の場があるのは、先人達のひとかたならない尽力のお陰です。

今回は大宮公園弓道場の改修工事に合わせて実施した扁額の修理で判ってきたことを、トピックスとして掲載いたしました。

普段は何気なく見上げている道場の扁額にも、歴史を偲ばせる先人たちのつながりと事実がありました。

皆様の周囲にもこのようなエピソードがありましたら、積極的に投稿をお願いいたします。

編集長　二見富士夫

画・松本